ケース1	アンチウィルスで検知できないマルウェアについて、Proxy・Firewall・IPS/IDS等のログを相関的に分析することにより感染PCを特定し、その後の感染拡大および情報漏洩を防止
ケース2	IDS/IPS・アンチウィルス等の複数デバイスのログを相関的に分析することにより、トリアージ（インシデントの優先度付け）に要していた工数を50%低減
ケース3	内部者による営業秘密の不正送信を発見し、競合企業への情報流出を未然に防止